

## 長崎県波佐見町 ~ 廃みかん園を開墾し地域の活性化を図る ~

[ 地域指定 ]	-
[ 農業地域類型 ]	中間農業地域
経営耕地面積	639ha
耕作放棄面積	農家 69ha 土地持ち非農家 20ha

### 【地域の概要】

波佐見町村木郷峠地区は中山間地にあり、昭和40年頃にはみかんが盛んに栽培されていたが、今ではそのほとんどが廃園となり耕作放棄されている。

### 【耕作放棄地解消に向けた取組の経緯】

平成17年に集落の30歳から50歳までの農家の後継者が集まり、サークル「百笑会」を結成。何年も遊休化した廃みかん園などの土地を有効に活用することで地域の活性化を目指すことにした。

作業は難航したが、長崎県の耕作放棄地解消5カ年計画実践事業の活用により、平成20年度までに5.5haの耕作放棄地解消に着手、うち2.0haについて優良農地へ再生ができ、現在は無農薬、無化学肥料での野菜栽培に取り組み、主な作物として玉葱、人参、カボチャ等がある。

## 耕作放棄地解消に向けた取組

耕作放棄地解消面積：6.0ヘクタール 取組時期：平成17年度～

何年も耕作放棄されていたこともあり、開墾した土地は肥沃で露地野菜の栽培に適していたが、山間地であるためイノシシが頻繁に出没し、農作物への被害が心配された。このため、19年度においては鳥獣害対策の緩衝帯を設けて、そこにイノシシの圃場への進入防止のための折り返し付ワイヤーメッシュを設置した。

作業受委託を含めた集落の農地集積により集落営農への取り組みを進め、任意組織であった「百笑会」を平成20年2月に特定農業団体として設立し、集落内の耕作放棄地約6haの復旧と活用で経営安定化と特定農業法人化に向け着実に前進しているところである。

### 【現地写真】



## 長崎県諫早市 ～遊休農地を活用した放牧～

[ 地域指定 ]	-
[ 農業地域類型 ]	平地地域
経営耕地面積	4,471ha
耕作放棄面積	農家 729ha 土地持ち非農家 638ha

### 【地域の概要】

旧飯盛町は、比較的温暖な気候という自然条件の中で、古くより馬鈴薯、人参、を中心とした畑作農業地帯であり、近年では、大型圃場整備が実施されたことにより農業基盤が整い、施設園芸による高付加価値農業の取組が行われ、急速な成長を遂げている。

また、農業構造は、大規模圃場整備の実施により、認定農業者を中心とした担い手による農業経営の規模拡大が図られている反面、自給的農家の規模縮小も進んでいる。特に一部の山間部では認定農業者等の担い手の割合が低く、自給的農家の高齢化による規模縮小や離農の増加に加え、土地持ち非農家や不在地主の増加により農地を引き受ける者が不足していることや従来からの米の生産調整対策、イノシシ被害等により、近年、耕作放棄地が増加している状況にある。

### 【耕作放棄地解消に向けた取組の経緯】

イノシシ被害が深刻な状況であったため、イノシシの隠れ家となっている里山と水田の間の耕作放棄地を解消し、イノシシの進入防止と農作物被害低減を目的として、放牧を開始した。

## 耕作放棄地解消に向けた取組

耕作放棄地解消面積：1.8ヘクタール 取組時期：平成18年度～

本取組により耕作放棄地が解消され、イノシシ被害が軽減するなど一定の効果を上げているが、同時に畜産農家からは、生産コストの削減や飼料自給率向上にも繋がっていることに加え、今後の経営規模拡大や後継者不足対策にも繋がると期待されているところである。

今後は、耕作放棄地を牛の力で放牧草地へ造成するための農地管理型放牧技術を確立させ、更に放牧地の拡大を図る。

1) 放牧前



2) 放牧中



3) 放牧後

